

おごせ 教育 Pick Up

越生小学校



4月24日の児童朝会では、委員会活動の紹介がありました。越生小学校では9つの委員会が常時活動をしており、学校生活を楽しく豊かにするため、子供たちが頑張っています。

梅園小学校

5月8日に全校なかよし遠足が快晴の中、行われました。高学年を中心に8つの縦割り班に分かれ、「大クスの木」と「上谷農村公園」を巡りました。1年生もよく歩き、公園ではみんなで楽しく遊ぶことができました。



越生中学校

4月18日に3年生を対象とした全国学力学習状況調査が行われました。今回は英語の「話すこと」に関する調査も行われ、生徒たちは少し緊張した面持ちでパソコンに向かい自分の声を録音していました。

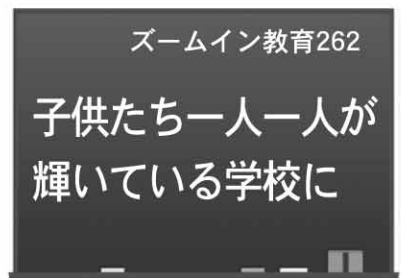


おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。

- ・ 本校の学校教育目標
- すすんで学び合う子
- ・ 学習の基礎、基本を身に付ける
- ・ 身に付けた知識・技能を活用する
- ・ 家庭学習をしっかり行う
- 仲良く助け合う子
- ・ 順番やきまりを守る
- ・ 思いやりのある言動ができる
- ・ みんなと協力して過ごす

本校は明治六年に開校し、今年で百四十六年を迎える、伝統と歴史を持つ小学校です。豊かな自然に囲まれ、各教室には大型テレビとエアコンが完備し、屋上には太陽光発電を設置するなど、充実した教育設備が整っています。恵まれた教育環境で、子供たちは真剣に学習に取り組み、のびのびとした学校生活を送っています。



越生小学校



- 元気にやり抜く子
 - ・ 心身共に健康で、安全に生活できる
 - ・ 目標に向かって、最後まで頑張り抜く
 - ・ 次に生かすために、振り返る
- 今年度は、四年間の文部科学省国立教育政策研究所研究指定（理科）の成果も生かし、学校教育目標の具現化を目指します。そのために、日々の生活を大切に、子供たちに「確かな学力」「豊かな心と道徳性」「心身共に健やかな児童」を育成できるよう職員一同、児童のために一丸となって「越生小の教育」の推進に取り組みます。

越生浪漫

No. 125

越生人物往来③

源頼朝



「伝源頼朝像」(京都神護寺所蔵) wikipediaより

新義真言宗智山派の名刹法恩寺の開創について、江戸幕府の編さんによる地誌『新編武蔵風土記稿』(文政13年(1830)完成)には、次のように記されています◆「(前略)当寺は天平十年のころ、行基菩薩東国遊行の日創建するところにして、最も大伽藍の霊場なり、則行基手づから大日・釈迦・弥陀・薬師・観音の五軀を造りて本尊となし(中略)保元・平治の頃に至て、兵乱の為に僧侶寺を捨て、山林に隠れ、堂塔仏閣の名のみ



法恩寺(越生駅前)



法恩寺草創の地と推定される「寺井」付近の現況(上台区)

残りて廢地となり、土人其跡を寺山と呼べり、其後文治年中当所の令たりし、倉田孫四郎基行と云者出家して、瑞光坊と号し、其妻を妙泉尼と稱せしが、当寺再興のことを右大将頼朝へ願ひしかば、頼朝越生次郎家行に仰せて、堂塔



最勝寺(堂山)

以下旧の如く造営ありしと、時に建久元年のことなり、八町四方の寺地を賜はり、且是よりさき法相宗たりしを改めて天台宗となし、持光山の号を賜ひ、又吾那の内三百町の地を、かの夫婦が食邑に与へられし(後略)◆越生氏一族の倉田孫四郎基行(瑞光坊)とその妻(妙泉尼)の願により、源頼朝が越生次郎家行(基行の甥)に命じて、建久元年(1190)に慈光寺末寺の天台寺院として復興させたという『法恩寺年譜』に載る縁起です◆源頼朝は慈光寺(ときがわ町)を深く崇敬し、文治5年(1189)に、奥州藤原氏追討(奥州合戦)の戦勝祈願に愛染明王像を奉納した記



(伝) 児玉雲太夫の墓

録があります。奥州合戦には、越生有弘(家行は大叔父に当たる)が畠山重忠に従って参戦しています◆堂山の、慈光寺のかつての参詣道(「慈光寺道」)沿いに立つ最勝寺は、建久4年に頼朝の命により児玉雲太夫が創建したと伝承されています。児玉雲太夫がいかなる人物なのかは不明ですが、越生氏も属していた武士団武蔵七党児玉党の土豪と推定されます。最勝寺近くの共同墓地には、石積み基礎壇の上に立つ児玉雲太夫の墓と伝えられる五輪塔があります◆最勝寺を経て上谷の山入に抜ける慈光寺道の、通称「大菅の三叉路」には、頼朝が置き忘れていったとの伝説がある



「大菅の地藏尊」(向かって右から2番目)

地蔵尊が立っています。江戸時代初期の寛永元年(1624)に造立された町内最古の石造地蔵尊であることも、伝説が生まれた背景にあると思われまます。写真右端の安永3年(1774)の馬頭尊の足元には「右はちかうみち(右は慈光道)」と彫られています。坂東第九番札所慈光寺と第十番正法寺(岩殿観音)を結ぶ越生の旧道の辻には、ほかに江戸時代に建てられた「慈光寺道」の道標がのこされています◆最勝寺と並ぶ法恩寺の有力末寺である医王寺(上野)の再建にも頼朝と越生次郎家行が関わったと伝えられています。